

あま かわ べ
天の川辺



双葉中学校通信
No.10(2023.10.18 発行)
〔文責:澤田隆文〕

教育目標 **心を磨き、体技を磨き、夢・志をもって挑戦し続ける自分をめざそう**
～努力を積み重ねる誠実さと情熱、しなやかな心で、可能性は無限大～
目指す生徒像 **自分の将来に夢を抱き、自分の力を社会に生かそうとする志をもった双中生**

双葉中学校ホームページ
はこちら



体育大会が終わると、一気に少し冷えた秋の空気が心地よい時期となりました。

この季節は、学習や読書、芸術活動などに取り組むのに適した時期です。さて、中国・唐代の文人である韓愈(かんゆ)が残した詩の中に「燈火(とうか) 親しむべし」という一節があります。これは「秋になると涼しさが気持ちよく感じられる。そんな秋の夜長はあかりをつけて本を読むのに適した季節である」という意味です。この言葉が「読書の秋」という言葉の由来とされています。

子どもの活字離れや国語力の低下、対話による問題解決能力の低下などが指摘されています。読書活動はこれらの能力を高めるだけでなく、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。また、読書は想像力や考える習慣を身に付けるよい機会となります。ぜひ、ご家庭でも読書を楽しむ時間をつくっていただければと思います。

文化活動、秋季総合大会(水泳)、各新人戦の表彰を紹介します(敬称略)

◇滋賀県第26回中学生広場「私の思い2023」

優良賞 3年 木谷莉緒 作文題「たくさんの視点をもって」

※8月19日(土)に日野町わたむきホールで開催された滋賀県中学生広場で米原市の代表として、各都市代表として選ばれた12名の中学生とともに意見発表を行い、さまざまな視点を持って友人関係を築いていくことが大切だと訴えました。

◇令和5年度『税についての作文』表彰(湖北納税貯蓄組合連合会、長浜税務署)

3年 木谷莉緒 題「ヒーロー」

◇令和5年度人権啓発作品標語(中学生の部)

最優秀賞 3年 前川斐奈子 作品「メールより あなたの目を見て 話したい」

◇令和5年度人権啓発作品作文(中学生の部)

最優秀賞 3年 前川斐奈子 作品「境界線のない世界」

◇令和5年度人権啓発作品ポスター(中学生の部)

優秀賞 3年 西村怜至朗 作品「お互い認め合う世界へ」

◇秋季総合体育大会(県大会水泳の部) 皇子が丘公園プール

男子200m背泳ぎ 山脇颯真 決勝 第1位

男子200m背泳ぎ 山脇拓真 決勝 第3位

◇ソフトテニス新人戦6・7ブロック大会(彦根金亀テニスコート)

2年個人戦第8位 田中葉生・廣田 葵

1年個人戦第2位 須戸ほのか・山田静空、同第7位 北村真唯・谷村麻衣

◇米原市総合体育大会(市内中学校)

・軟式野球 双葉中3-9米原中・伊吹山中

・女子バレーボール 第2位 双葉中0-2大東中、双葉中2-0米原中

・男子卓球1年個人 第1位 塚田英佑

・女子卓球2年個人 第3位 杉山あかり

◇秋季長浜市民卓球大会中学の部(長浜市民体育館)・男子団体 第2位 ・女子団体 優勝 双葉中A



通学路の変更を機会に、地域の皆様の見守りに感謝

右の写真は、2005（平成17）年に、当時おうみ地域防犯安全パトロール隊でお世話になっていた長野昭久さんが、顔戸の三叉路で双中生の登校を見守り指導していただいている一場面です。

今年の夏に、近江学びあいステーション前から県道に向けて南北に通じる市道顔戸能登瀬線が開通し、それにあわせて双中生の通学路も見直しを行いました。これまで、市道伊部近江線を通っていましたが、道幅が狭く地域の皆様からも心配する声をいただいていたところでしたので、新し



く整備された道を安全に通学できることはたいへんありがたいことです。通学路の見直しに合わせて、地域防犯安全パトロール隊の方から、以前の通学路の見守りでたいへん心配していたとのことのお話を聞かせていただく機会がありました。特に、顔戸の三叉路付近では毎朝通学する双中生の安全確保にご苦労いただいていたということでした。そのお話の中で、写真の長野さんが体調を崩された際、当時の双中生徒会の皆さんが、長野さんへの激励のお手紙を書いて届けたというエピソードがあったそうです。

今回、新しい通学路が完成し、双中生の安全がより確保されることになりましたが、これまでの間、おうみ地域防犯安全パトロール隊の皆様をはじめ地域の皆様の協力があったからこそなのだと思います。

通学路の変更を機会に、あらためて地域の皆様の見守りに感謝しましょう。

陸上競技部の皆さんが小学校運動会でボランティア活動

10月7日（土）に坂田、息長小学校で開催された運動会に、双中陸上競技部の皆さんがボランティアとして参加しました。

児童の誘導やスターター・決勝判定などの競技役員として、小学校の先生の手伝いに奔走していました。小学校の先生方からも、卒業生の成長した姿に感心されていました。児童にとっては、たいへん頼りになる先輩としての活躍が見られました。その先輩の姿を見て、「中学生になってもがんばろう！」という志をもって入学する後輩が増えることを期待します。

ボランティア活動は、その活動の多くが他の人々と一緒に協力して行うものです。多くの人と交流できる社会性や、それらの人々を尊重し、協力し、ともに支え合う連帯性が培われる有意義な活動です。ボランティアとして活動した皆さんが、活動を通してさらに成長できるものと期待しています。ご苦労さまでした。



高円宮杯全日本英語弁論大会県大会に出場

10月2日（月）に、滋賀県総合教育センターを会場に高円宮杯全日本英語弁論大会滋賀県大会が開催されました。県大会に、本校3年堤柚香さん、2年世森洸太郎さんが出場しました。

堤さんの発表タイトルは「Every Minute, Every Moment」とし、自身の経験から一瞬一瞬を大切に生活していきたいという決意を発表しました。世森さんは、発表タイトルを「Live Your Life the Way You Want to」とし、音楽を聴いたり歌ったりすることを趣味とすることで、さまざまな困難やストレスにうまく対処し解決しながらがんばることができること、そして、そのことが人生を楽しむことにつながっていくのだと発表しました。

英語科の先生や英語指導助手のアナ先生の指導のもとで練習を重ね、英語の発音や表現を磨いてきました。当日は、その練習の成果が見事に発揮されていて、たいへん素晴らしい発表となりました。

